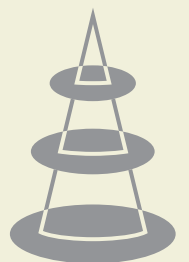


2017
20th
Nagasaki
Cityscape
Awards

あしたの まちは 私がつくる

2017 第20回 長崎市都市景観賞作品集



ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会 委員長
田上 富久

2017 第 20 回長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

さて、長崎市都市景観賞は、長崎らしいまちづくりを進めるため、長崎の歴史的背景と地理的特色を生かし、周囲の町並みや雰囲気に調和した建築物や優れた都市景観の形成に寄与していると認められるものを表彰することにより、市民の都市景観に対する関心を高め、より一層快適な美しい街並みを守り育てていくことを目的として、昭和 62 年度に創設されました。節目となる第 20 回目の開催となった今回は、記念部門として「夜間景観部門」を創設し、過去の表彰作品を巡る「都市景観賞さるくツアー」を開催するなどの取り組みを行うことにより、選考対象は過去最多となる 216 件もの御応募をいただきました。市民の皆様にも心より深く感謝申し上げます。長崎市は、昨年 3 月 31 日に、国から全国 10 都市の「景観まちづくり刷新モデル地区」に、九州で唯一指定されました。これも、都市景観賞に代表される市民の皆様の景観まちづくりの取り組みが結実した大きな成果の一つであると考えています。また、モデル地区に指定されたことで、平成 31 年度までの間、国からの重点的な支援を受けながら、より多くの方々に長崎の景観を楽しんでいただくために、夜景の更なる磨き上げを行う「夜間景観の刷新」、被爆 75 周年に向けて平和公園とその周辺を整備する「祈りの景観の刷新」、まちなかを歩いて楽しめる「まちなかの景観の刷新」に取り組むこととしております。長崎市が景観まちづくりのモデル都市であり続けるためには、市民の皆様と協働で取り組む都市景観賞は必要不可欠であり、これからも、より一層市民の皆様が親しまれ、魅力ある取り組みにしていきたいと考えています。最後になりますが、長崎市都市景観賞が長崎の都市文化向上のための一翼を担うことを祈念しますとともに、本賞の実施にあたり、御協賛、御協力、御後援をいただきました企業・団体の皆様、選考委員の皆様、関係各位の皆様の御尽力に、心より深く感謝申し上げます。



長崎商工会議所 会頭
宮脇 雅俊

2017 第 20 回長崎市都市景観賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今回は、過去最多となる 216 件の選考対象作品の内、都市景観賞 4 件、奨励賞 5 件となりました。いずれも歴史と文化の街である長崎市に相応しい、すばらしい作品ばかりであると存じます。さて、長崎市都市景観賞は、本所青年部が昭和 60 年に原案となる『長崎市建築文化賞』を企画立案したことがきっかけとなり、昭和 63 年 3 月に第 1 回目となる『長崎市都市景観建築賞』が官民一体となって実施されて以来、今回で 20 回目を迎えることとなりました。本事業は、景観はもちろんのこと、長崎の観光資源の掘り起こしや、これまでに培われた歴史、文化などを改めて見直す契機となっており、長崎の街が持つポテンシャルの高さを再認識するとともに、調和のとれたまちづくりを促進するうえで重要な役割を担うものとなっております。長崎市では、『明治日本の産業革命遺産』の世界文化遺産への登録や、長崎が世界新三大夜景都市に認定されたことに併せて、国際クルーズ客船の寄港数増加などが追い風となり、平成 28 年は過去最高を更新する 672 万人の観光客が訪れております。また、今後も世界文化遺産登録候補である『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』の登録実現や V・ファーレン長崎の J1 昇格による集客効果により、長崎市の交流人口は一層増加することが予想されます。長崎市民にとっては見慣れた景観も、域外からの観光客、来街者にとっては、歴史や異国情緒を感じさせるものとして長崎の街に数多く残されております。長崎市都市景観賞が、今後とも一層景観に対する市民の皆様の理解や関心を高めて、良好な都市景観形成の促進に寄与するものとなりますことを期待しております。最後になりましたが、今回ご協力いただきました方々並びに、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様、選考委員の皆様方へ御礼を申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

選考を終えて



長崎市都市景観賞選考委員会 座長

宮原 和明

「2017 第 20 回 長崎市都市景観賞」を受賞された皆さまに心からお祝い申し上げます。

1988 年、長崎市の魅力ある都市景観を守り育てるために「長崎市都市景観条例」制定。これに先立ち 1987 年、将来の都市景観のため良質な建築を奨励する「長崎市都市景観建築賞（現・長崎市都市景観賞）」創設。2005 年には都市・農山漁村等における良好な景観の形成を図る「景観法」施行。市域は 2006 年までに野母崎・三和・香焼・高島・伊王島・外海・琴海の 7 カ町が合併、産炭地である端島や池島、そして大村湾を臨む歴史と自然豊かな地域へと広がり、市の景観行政施策努力と共に市民の意識と関心は高まっています。

今回の長崎市都市景観賞では過去最高の選考作品数があり、以下の 9 点が高く評価され見事受賞されました。大きな建物部門「済生会長崎病院」。狭い敷地に大規模病院と全個室の要件が、ボリューム感抑える外観ファサードと病室空間との融合・質と相まって景観に寄与しています。小さな建物部門「あたご保育園」。斜面地の狭い棚田状敷地を活かした保育室と通路階段の空間設計及び幼児の遊び空間など、地形をオフセットしたような外観が新しい都市景観を創出しています。歴史のある部門「カトリック黒崎教会」。赤煉瓦壁と切妻屋根の外観が一帯の集落景観と相まって良質な景観資産となり、地域の人々の積み重ねで作り上げられた教会です。今回新設の夜間景観部門「十八銀行本店」。ライトアップがアーチシルエットと対比して表情も良く、水辺に映り込む光が潤いを生み夜のランドマークとして認識されています。屋外広告物部門奨励賞「梅月堂本店」は、ファサードがヨーロッパ伝統の石壁とステンドグラス窓、2 階が漆喰と和瓦の和洋折衷で、時を経てこの町にしっかりと馴染んできました。奨励賞「松翁軒観光通り店」は、和のテイストでありながら爽やかで軽快な外装が、通り全体に清涼感を与えていました。夜間景観部門奨励賞「稲佐山電波塔」。リニューアルされたライトアップが中腹のホテル群の暖かい光とは対照的に、LED 投光器によるシンボリックな存在感があり春夏秋冬の季節に応じたライティングでした。テーマ部門奨励賞「長崎電気軌道 310 号『みなと』」は、第 1 人者デザイナーによる古い路面電車の質の高い内外装リニューアルでした。長崎の風景に馴染みこれからの公共交通のあり方や都市の個性を表現体験する装置として良い例となりました。奨励賞「伊良林 1 丁目の路地」は、古い町家が立ち並んで残る貴重な地域でしたが老朽化等による存続危機の中、古民家を活かした食事処や町家再生の新築家屋など、通り一帯連携した取り組みでした。今後はこれまでの都市景観賞の歴史を活かし、官民協働の学び合いの場で、建物や町並み、自然景観に対する若い世代の感性も育て上質な建築文化の醸成・人材育成も重要です。今回の選考委員会の皆さまにお礼を申し上げますと共に長崎市都市景観賞が今後更に発展することを願っております。

[選考委員会]

座長

宮原 和明

長崎総合科学大学 名誉教授 | 建築 |

委員

泉 ルミ

一字一級建築士事務所 | 照明デザイン |

岩永 堅之進

長崎市管工業協同組合 理事長 | 設備等 |

川瀬 智子

一般社団法人 長崎県建築士会 長崎支部 理事 | 建築 |

木場 耕志

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会 長崎支部 支部長 | 建築 |

五島 聖子

長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 環境科学領域 教授 | 造園 |

柴田 正明

長崎県電気工事業工業組合 長崎支部 幹事 | 設備等 |

田代 圭介

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会 長崎支部 副支部長 総務財務委員長 | 建設 |

武藤 剛

一般社団法人 長崎県建設業協会 長崎支部 理事 | 建設 |

山崎 加代子

design hehe 代表 | デザイン |

山田 由香里

長崎総合科学大学 工学部工学科 建築学コース 教授 | 建築 |



大きな建物部門 済生会長崎病院



[選考理由 | 木場 耕志]

済生会長崎病院は、地域の急性期医療を担うために、患者の尊厳を最優先すべきとの考えから、公的病院では初めて病室を全室個室として計画された。プライバシーの確保や感染管理のみならず重篤な状況での患者と家族との親密な空間形成、処置が迅速に行えることなどが、個室病院のメリットとして重視された。建物は、東西を傾斜状の住宅地にはさまれた南北に長い敷地において、病室が配置される高層部は、内部の看護動線短縮にも有効な三角形の平面形となっている。また、県道に面する西側外観は個室を象徴する屏風風の形状となっており、開口部を最小限として西日を遮る一方、夜には病室の明かりが街にもれ出すことで建物の圧迫感を軽減する配慮を行っている。もう一辺の南側には大きな窓を設け、ベッド上から長崎の街を港への眺望が得られるつくりとなっている。長崎地域医療の拠点にふさわしい建物として、各委員の評価を得たものである。

所在地／長崎県長崎市片淵2丁目5-1
用途／病院
階数／地上9階
面積／22094.59㎡
構造／S造、RC造
完成年／2009年(平成21年)

[所有者]

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
済生会長崎病院
長崎県長崎市片淵2丁目5-1

[設計者]

株式会社 日本設計
東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー

[施工者]

鹿島建設 株式会社
東京都港区元赤坂 1-3-1





第20回
長崎市都市景観賞

小さな建物部門 あたご保育園



[選考理由 | 宮原 和明]

ひと昔前の田舎の子どもは、棚田と裏山をかけずりまわり良く遊んだものである。この少年のような冒険心を今の子どもたちに体験させる建築空間がそこにある。敷地は西側に中心街を見下ろす斜面地でもともと棚田として造成された名残が残る場所である。コンターラインに沿って平面が配置され、擁壁を補強するアーチ状の梁が各空間の間仕切りの要素と質を高めている。また幼児目線の天井の低い保育室と天井の高い中央の通路兼階段は裏山の竹林まで行くことができ、その空間対比は建物景観にメリハリを与え、内部において外とつながり終日の天気や昼光を体感できる。また幼児と言う遊びの天才たちが外や屋上を走り回り、終日心行くまで過ごすことのできる仕掛けは見事である。敷地になじみ風景になじむこの建築は長崎特有の立体的な町の豊かさにつながることで評価され、都市景観賞に選出された。

所在地／長崎県長崎市愛宕4丁目19-11
用途／認定こども園
階数／地上2階
面積／963.71㎡
構造／RC造
完成年／2016年(平成28年)

[所有者]

社会福祉法人 正道会
幼保連携型認定こども園 あたご保育園
長崎県長崎市愛宕4丁目19-11

[設計者]

株式会社 INTERMEDIA
長崎県島原市有明町湯江甲263

[施工者]

株式会社 長崎大建
長崎県長崎市出来大工町5-1





歴史のある部門
カトリック黒崎教会



【選考理由 | 山田 由香里】

黒崎教会は、長崎市街地から外海に向かって国道を進むと、山の中腹に迎えてくれる。赤レンガ壁で切妻屋根の外観は、安定感があり親しみを持てる。その存在は、外海一帯の信仰の集落景観の始まりを告げる。教会の入口には、建設の歴史が次のように紹介されている。1897年、ド・ロ神父の指導によって聖堂建設を計画。海からも山からも見える現在地に決定。1899年、建設着手。1920年12月18日、計画以来23年を経て、聖堂が完成。施工は黒崎の大工棟梁川原忠蔵親子。翌19日、献堂。完成までに時間を要したのは、規模の大きさにあるだろう。床面積は500㎡を越え、特に奥行が40m近くあって深い。その結果、長崎県下で建設された最後のレンガ造教会堂となった。こうもり天井が連続する内部も見応えがある。平成元年から10年かけて修理が行われ、石垣補修、屋根替え、基礎補強がなされた。明治の敷地造成、大正のレンガ運び、平成の修理、いずれも信者の総力による。地域の人々の積み重ねが造りあげた景観は、歴史ある部門にふさわしい。

所在地／長崎県長崎市上黒崎町26
用途／教会
階数／平屋建て
面積／534㎡
構造／レンガ造、三廊式、リブ・ヴォールト天井、
楽廊有
完成年／1920年(大正9年)

【所有者】
カトリック黒崎教会
長崎県長崎市上黒崎町26





夜間景観部門 [第20回記念]

十八銀行本店



[選考理由 | 泉 ルミ]

十八銀行は、1877（明治10）年に全国で18番目の銀行として設立された「第十八国立銀行」に由来する。地上10階建ての現社屋が竣工した1969（昭和44）年当時は、県下一の高さを誇り、近年施されたライトアップにより、夜のランドマークとして認識されている。外観は、居留地に多いヴェランダコロニアル洋式をモチーフとし、全面にわたって連続するアーチが特徴である。各階に丁寧に仕込まれた光が壁面と軒裏を柔らかく照らし上げ、アーチのシルエットと対比して彫りの深い表情を品よくまとめている。窓ガラスを通し室内照明を極力外部に漏らさない配慮にも好感がもたれ、効果を発揮している。敷地は、かつての俵物役所跡地で、銅座川と中島川の合流地点であるが、長崎の経済を支える風格のある佇まいに、都市の記憶を刻んだ景色への敬意がうかがえる。水面に映りこむ温かい光が増幅し、日没後の水辺空間に潤いと賑わいをもたらしている点も評価される。

所在地 / 長崎県長崎市銅座町 1-11
 用途 / 事務所
 階数 / 地上10階
 面積 / 12722.79 m² (本館)、6246.24 m² (新別館)
 構造 / SRC造、S造
 完成年 / 1969年(昭和44年)本館
 1994年(平成6年)新別館

[所有者]

株式会社 十八銀行
 長崎県長崎市銅座町 1-11

[設計者]

株式会社 日建設計
 東京都千代田区飯田橋 2-18-3

[施工者]

株式会社 竹中工務店
 大阪府大阪市中央区本町 4-1-13

松尾建設 株式会社
 佐賀県佐賀市八幡小路 1-10





屋外広告物部門
梅月堂本店



【選考理由 | 山崎 加代子】

長崎の代表的なケーキは？と県外の人に聞かれたら、梅月堂のシースクリーム！と答える長崎人がかなり多い。長崎の浜町は全国的にみても活気のあるアーケード街で、その通りの中心に洋菓子の老舗ならではの佇まいを持つ梅月堂本店がある。創業120年余、改装して約25年。ファサードは、ヨーロッパ伝統の石壁とステンドグラスの窓でデザインされ、時を経てこの町にしっかりと馴染んできた。2階は漆喰・和瓦で、和洋折衷の好例となっている。真正面には、梅の花と実をイメージしたシンボルマークのステンドグラスが。この楕円型のオブジェは、一日の時間の経過と共に美しく変化し深みのある微妙な色合いを見せてくれる。ドアや窓から溢れる店内の暖かな灯りは、通りを行き交う人々をずっと包んできたのだろう。まちなかギャラリーとして、店内に長崎ゆかりのアーティストの作品を定期的に展示。地元長崎を愛し、目にも舌にも美味しい洋菓子作りに挑戦する梅月堂のクリエイティブな姿勢が垣間見える。伝統を活かしつつ新しさも積極的に取り入れる。こんな店舗とオーナーの心意気を大事にしたいものである。

所在地／長崎県長崎市浜町7-3
構造／スチール造形焼付、ステンドグラスはめ込み
完成年／1993年(平成5年)

【所有者】
株式会社 梅月堂
長崎県諫早市多良見町市布 1530

【設計・施工者】
株式会社 船場
東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S館 9F





屋外広告物部門
松翁軒観光通り店



【選考理由 | 川瀬 智子】

創業330年を越える老舗菓子舗「松翁軒」の観光通り店。全体的にすっきりとしたスマートなデザインにまとめた上で、隅々まで繊細なデザインが施されている。金属のレリーフに見える看板は、店名を大きく掲げるのではなく、近づいて見ると店名文字をモチーフにステンレスを使って障子の組子のように職人の手仕事で表現されており、和のデザインを昇華させていて秀逸。内部の正面壁の鮮やかなタイルは、長崎らしく、スペイン・ポルトガルの南蛮文化を表現し、その上部の鏡は、奥行きが無いスペースに広がりを感じさせた上で、通りを歩く人々の姿を映し出して、通りの往來をデザインに取り込んでいる。交差点の角に位置して、和のデザインでありながら、爽やかで軽快な外装は、通り全体に明るく清潔感のあるイメージをもたせるものとなっており、景観に寄与している。

所在地／長崎県長崎市万屋町 5-6
構造・材質／ステンレス平板レーザーカット
完成年／2012年（平成24年）

【所有者】
株式会社 松翁軒
長崎県長崎市魚の町 3-19

【設計者】
岡田工房
長崎県長崎市上町 3-26

【施工者】
有限会社 山下ウインド
長崎県長崎市東古川町 3-11





夜間景観部門 [第20回記念]
稲佐山電波塔



[選考理由 | 泉 ルミ]

稲佐山電波塔のライトアップは、2014（平成26）年に長崎夜景プロモーション実行委員会が夜景とまちづくりの一環で、長崎での国体開催に合わせて実施し、2016（平成28）年に常設化された。3基の鉄塔を頂上に抱く稲佐山は都市のアイコンであり、市内の至る所から眺められるとともに、眺望を求めて多くの人が訪れる。ライトアップは日没後から毎日点灯されるが、外周に配したLED投光器が電波塔全体を鮮明に照射し、遠景からでも認識させることに成功している。ふもとのホテル群の温かい光とは対照的にシンボリックな輝きが存在感を示す。毎時00分と30分には、春は緑、夏は水色、秋はオレンジ、冬は赤というように季節に応じたカラーライティングを施し、定刻を知らせる時計の役割をもたせている。特別な演出や音楽との連動など多彩なプログラムも用意されているようだが、LEDによる繊細な色の再現力と制御機能が活かしきれていない印象があり、今後のバージョンアップに期待したい。

所在地 / 長崎県長崎市稲佐町364番地ほか
照明器具 / 24台（配光角10度）、36台（配光角28度）
完成年 / 2016年（平成28年）

[代表者]
長崎夜景プロモーション実行委員会
長崎県長崎市桜町4-1
[設計者]
株式会社 トーワ
長崎県長崎市鳴見町50-1
[施工者]
長崎電業株式会社
長崎県長崎市花園町2-21





テーマ部門 [公共交通のデザイン賞]

長崎電気軌道 310号「みなと」



[選考理由 | 宮原 和明]

九州新幹線「つばめ」やクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」などの公共交通のデザインで実績のあるデザイナー・水戸岡鋭治氏によって、昭和29年1月に製造された昔ながらの路面電車の内外装をリニューアルしたものである。外装は、普段使用しないメタリックブルーを採用し、光を纏いながらまちなかを快走する姿が港町長崎によく似合う。内装は、組子細工や船舶用照明、長崎びいどろのランプなど、職人たちの技術の粋を集めた仕上がりである。窓枠を額縁に見立て、長崎の美しい景観を「絵画」のように楽しむ仕掛けも施された。公共交通はこれからのコンパクトなまちづくりを考える上では非常に重要である。この車両は、公共交通を単なる移動手段としてだけでなく、都市の個性を表現する、あるいは都市を体験する装置としてデザインが導入された点で高く評価された。こうした取り組みを、電停やサインなどにも幅広く展開して欲しい。

所在地 / 長崎県長崎市大橋町 4-5
 自重 / 15.7 t
 定員 / 46名 (座24、立22)
 製造 / 1954年 (昭和29年)
 完成年 / 2017年 (平成29年)

[所有者]
 長崎電気軌道株式会社
 長崎県長崎市大橋町 4-5

[設計者]
 株式会社ドーンデザイン研究所
 東京都板橋区中丸町 24-11 Mハウス 201号





テーマ部門 [地域連携のまちづくり賞]
伊良林1丁目の路地



[選考理由 | 武藤 剛]

宮地嶽神社の鳥居やカトリック八幡町教会の十字架が隣り合わせとなる、現代の長崎らしい町並みである八幡町の通りに面した細い路地に一步足を踏み入れると、昔ながらの町家が連なり趣きのある路地が伊良林1丁目にある。この路地は、古い木造の町家が立ち並ぶ珍しい地域だったが、近年の社会情勢の変化からその存在は必要意義をなくしていき、やがては解体の憂き目を見るところだった。しかし、その風情を残そうという想いで町家をリノベーションして飲食店として活用する「無量庵」や町家の雰囲気を残した改修をそれぞれの持ち主が尊重し合いながら行っている。地元不動産会社が開発した戸建分譲住宅も、現代的な住宅でありながらもその雰囲気に合った景観を形成している。建築協定や地区計画などといった法的な「強制」によるものではなく、地域の住民がその路地の古き良き景観にゆるやかに「共感」することにより、まちの景観を形成している稀有な事例といえるのではないかと。

所在地 / 長崎県長崎市伊良林1丁目
中島川・寺町地区景観形成重点地区

[代表者]
伊良林1丁目自治会



第 20 回記念

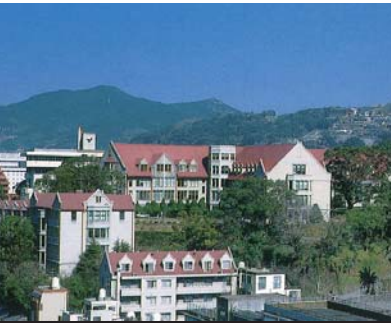
長崎市都市景観賞年表 | 受賞作品 | 受賞作品一覧表 | MAP



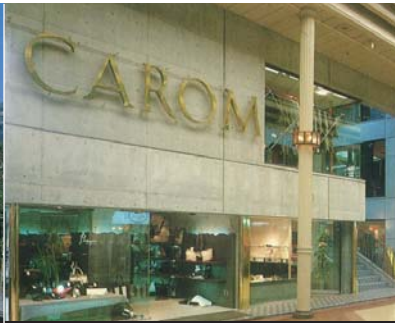
長崎市都市景観賞年表

| 回 | 年度 | 賞名 | 実行委員長 | 選考委員会座長 | 募集期間 | 応募総数 | 案件数 | 選考対象数 | 景観賞 | 奨励賞 | 表彰式 | 記念講演講師 |
|----|------|---------|-------|---------|------------------------------------|------|------|-------|-----|-----|---|---|
| 1 | 1987 | 都市景観建築賞 | 本島 等 | 石野 治 | 昭和 62 年 10 月 15 日～ 11 月 30 日 | 139 | 88 | 73 | 5 | — | 昭和 63 年 3 月 4 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール | 「長崎の西洋館のルーツ」 藤森 照信 氏 東京大学生産技術研究所助教授/工学博士 |
| 2 | 1989 | 都市景観建築賞 | 本島 等 | 石野 治 | 平成元年 9 月 1 日～ 10 月 31 日 | 210 | 102 | 66 | 5 | — | 平成 2 年 3 月 16 日 (土) 長崎商工会館 2 階ホール | 「都市景観と博覧会」 美川 淳而 氏 九州芸術工科大学環境設計学科教授 |
| 3 | 1991 | 都市景観賞 | 本島 等 | 石野 治 | 平成 3 年 5 月 15 日～ 6 月 29 日 | 170 | 99 | 69 | 2 | 3 | 平成 3 年 10 月 4 日 (日) 長崎商工会館 2 階ホール | 「個性的な都市空間創出の決め手は何か」 両角 光男 氏 熊本大学工学部建築学科教授 |
| 4 | 1992 | 都市景観賞 | 本島 等 | 石野 治 | 平成 4 年 10 月 1 日～ 11 月 17 日 | 77 | 40 | 35 | 3 | 1 | 平成 5 年 2 月 27 日 (土) 長崎商工会館 2 階ホール | 「まちづくりと景観」 毛綱 毅曠 氏 ㈱毛綱毅曠建築事務所代表取締役 |
| 5 | 1993 | 都市景観賞 | 本島 等 | 石野 治 | 平成 5 年 10 月 1 日～ 10 月 20 日 | 64 | 42 | 36 | 3 | 1 | 平成 6 年 2 月 23 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール | 講演なし |
| 6 | 1994 | 都市景観賞 | 本島 等 | 宮川 密義 | 平成 6 年 9 月 1 日～ 9 月 20 日 | 63 | 42 | 29 | 0 | 2 | 平成 7 年 3 月 1 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール | 講演なし |
| 7 | 1995 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮川 密義 | 平成 7 年 9 月 14 日～ 10 月 23 日 | 106 | 52 | 40 | 3 | 1 | 平成 8 年 3 月 1 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール | 「ザ・ナガサキ・ストーリー：その変遷と挑戦」 ジェフリー・チャールズ・ガン 氏 長崎大学経済学部教授 |
| 8 | 1996 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮川 密義 | 平成 8 年 9 月 17 日～ 10 月 31 日 | 69 | 54 | 43 | 3 | 2 | 平成 9 年 3 月 28 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール | 「長崎のまちづくり」 伊藤 一長 長崎市長 |
| 9 | 1997 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮川 密義 | 平成 9 年 9 月 16 日～ 10 月 31 日 | 92 | 58 | 41 | 3 | 2 | 平成 10 年 3 月 31 日 (火) 長崎商工会館 2 階ホール | 「景観まちづくりと美しさ」 浦口 醇二 氏 ㈱かいアソシエイツ代表取締役 |
| 10 | 1998 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮川 密義 | 平成 10 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日 | 259 | 146 | 95 | 2 | 5 | 平成 11 年 1 月 20 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール | 「こんなまちに住みたいナ～絵本・くらし・まちづくり～」 延藤 安弘 氏 千葉大学工学部都市環境システム学科教授 |
| 11 | 1999 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮川 密義 | 平成 11 年 8 月 1 日～ 9 月 30 日 | 167 | 128 | 96 | 2 | 1 | 平成 12 年 1 月 26 日 (水) 長崎商工会館 2 階ホール | 「景観形成の課題とデザインの方法」 篠原 修 氏 東京大学工学部教授 |
| 12 | 2001 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮川 密義 | 平成 13 年 8 月 1 日～ 9 月 28 日 | 268 | 121 | 100 | 3 | 3 | 平成 14 年 1 月 29 日 (火) 長崎商工会館 2 階ホール | 「第 1 部」スライド映写会 「フロンティア越しの都市景観」 ◎昭和 40 年度の長崎風景 ◎現在の長崎風景 「第 2 部」記念講演 「長崎とのつきあい・40 年を振り返る」 東松 照明 氏 写真家 |
| 13 | 2003 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮原 和明 | 平成 15 年 8 月 1 日～ 9 月 30 日 | 170 | 50 | 50 | 3 | 2 | 平成 16 年 1 月 30 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール | 「世界のまちを歩いて」 山頭 範之 氏 写真家 |
| 14 | 2005 | 都市景観賞 | 伊藤 一長 | 宮原 和明 | 平成 17 年 8 月 1 日～ 9 月 30 日 | 134 | 80 | 58 | 3 | 3 | 平成 18 年 2 月 10 日 (金) 長崎商工会館 2 階ホール | 「風景は地域の財産」 樋口 明彦 氏 九州大学大学院工学研究科建設デザイン部門教授 |
| 15 | 2007 | 都市景観賞 | 田上 富久 | 岡林 敏孝 | 平成 19 年 9 月 1 日～ 10 月 31 日 | 138 | 95 | 69 | 4 | 0 | 平成 20 年 3 月 19 日 (水) 長崎県美術館ホール | 「夜景を観光資源として活かすには」 縄手 真人 氏 新日本三大夜景・夜景 100 選事務局代表 |
| 16 | 2009 | 都市景観賞 | 田上 富久 | 岡林 敏孝 | 平成 21 年 8 月 3 日～ 9 月 30 日 | 382 | 181 | 147 | 4 | 1 | 平成 22 年 2 月 5 日 (金) 長崎ブリックホール 国際会議場 | 「地域の歴史と文化を掘り起こす～鑑定団と『いい仕事』～」 中島 誠之助 氏 古美術鑑定家・戸栗美術館理事 |
| 17 | 2011 | 都市景観賞 | 田上 富久 | 宮原 和明 | 平成 23 年 8 月 1 日～ 9 月 15 日 | 276 | 180 | 168 | 3 | 3 | 平成 24 年 2 月 14 日 (土・祝) 長崎大学中部講堂 | 「まちは人がつくる」 安藤 忠雄 氏 建築家 |
| 18 | 2013 | 都市景観賞 | 田上 富久 | 宮原 和明 | 平成 25 年 8 月 15 日～ 9 月 30 日 | 186 | 116 | 109 | 3 | 2 | 平成 26 年 2 月 15 日 (土) 長崎県美術館ホール | 「まちを支えるヒト、モノ、コト」 西村 浩 氏 建築家/ワークビジョンズ代表 |
| 19 | 2015 | 都市景観賞 | 田上 富久 | 宮原 和明 | 平成 27 年 9 月 1 日～ 10 月 16 日 | 263 | 221 | 173 | 6 | 4 | 平成 28 年 2 月 14 日 (日) 長崎大学医学部良順会館 | 「第 1 部」基調講演 「「らしさ」を紡ぐために」 高尾 忠志 氏 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授 長崎市景観専門監 「第 2 部」パネルディスカッション 「景観まちづくりの価値は？」 宮原 和明 氏 (コーディネーター) 長崎市都市景観賞選考委員会座長 高尾 忠志 氏 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授/長崎市景観専門監 吉田 茂視 氏 ㈱メモリード代表取締役社長 坂本 英史 氏 ㈱隈研吾建築都市設計事務所設計室長 野島 洋 氏 ㈱光洋会野島歯科医院理事長 吉岡 正知 氏 工房吉岡代表 深堀 暢師 氏 浦上天主堂再現プロジェクト実行委員会委員長 |
| 20 | 2017 | 都市景観賞 | 田上 富久 | 宮原 和明 | 平成 29 年 9 月 1 日～ 10 月 16 日 | 376 | 245 | 216 | 4 | 5 | 平成 30 年 2 月 18 日 (日) 長崎商工会館 2 階ホール | 「第 1 部」記念講演 「画像に見る長崎景観の変遷と課題」 ブライアン・パークガフニ 氏 長崎総合科学大学教授 「第 2 部」パネルディスカッション 「景観まちづくりの過去・未来」 宮原 和明 氏 (コーディネーター) 長崎市都市景観賞選考委員会座長 井口 琢朗 氏 ㈱日本設計九州支社建築設計部主管 佐々木 翔 氏 ㈱INTERMEDIA 取締役 ブライアン・パークガフニ 氏 長崎総合科学大学教授 |
| 合計 | | | | | | 3609 | 2140 | 1713 | 64 | 41 | | |

第1回 - 第19回 長崎都市景観賞受賞作品



1987年 活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館



1987年 (旧)カロムビル



1987年 フォーレ三原台



1987年 松翁軒



1987年 中華門



1989年 活水学院楠光寮



1989年 小ヶ倉公営住宅



1989年 シーボルト記念館



1989年 蛸茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱



1989年 山里小学校



1991年 (旧)川口鼈甲店



1991年 シーボルト通り



1992年 海星修道院・海星学園図書館



1992年 (旧) 矢上小学校現川分校



1992年 小ヶ倉水園 (小ヶ倉浄水場内)



1993年 (旧) 金子建設本社ビル



1993年 湊公園



1993年 県営大橋団地・市営若葉団地



1995年 長崎電気ビル



1995年 常岡歯科診療所



1995年 龍馬のぶつ



1996年 三宅脳神経外科医院



1996年 岩永梅寿軒



1996年 賑町パーキングセンター



1997年 長崎市科学館



1997年 深堀の石塀群



1997年 宝製網



1998年 福砂屋本店



1998年 児童養護施設マリア園



1999年 長崎平和記念教会



1999年 (旧) 料亭 富貴樓



2001年 小野本店



2001年 長崎大学経済学部瓊林会館



2001年 どんどん坂



2003年 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館



2003年 長崎総合科学大学人間環境学部棟



2003年 福砂屋松が枝店



2005年 長崎県美術館



2005年 ピストロ・ピエ・ド・ポー



2005年 (旧) 増田邸



2007年 親和銀行大波止支店



2007年 BAR 猪ノ口屋



2007年 文明堂総本店



2007年 寺町通り



2009年 長崎市立図書館



2009年 長崎大学医学部良順会館



2009年 料亭 一力



2009年 大中尾棚田



2011年 長崎港松が枝国際ターミナルビル



2011年 三菱重工業長崎造船所史料館



2011年 古賀植木の里



2013年 ANAテレマート長崎支店



2013年 占勝閣



2013年 料亭 青柳



2013年 長崎水辺の森公園



2015年 ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート



2015年 野島歯科醫院



2015年 鎮西大社 諏訪神社



2015年 女神大橋



2015年 つりがお堂薬局サイン



2015年 浦上天主堂再現プロジェクト

第1回 → 第19回 長崎都市景観賞受賞作品一覧表

| 年度 | 種別 | 作品名 | 所在地 |
|--------------------------------|---------|--|-----------------|
| 1987 第1回 昭和62年度 [5件] | 都市景観建築賞 | 活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館 | 東山手町1番50号 |
| | | (旧) カロムビル | 浜町3番19号 |
| | | フォーレ三原台 | 三原2丁目24番1号 |
| | | 松翁軒 | 魚の町3番19号 |
| | | 中華門 | 新地町 |
| 1989 第2回 平成元年度 [5件] | 都市景観建築賞 | 活水学院楠光寮 | 新戸町3丁目31番24号 |
| | | 小ヶ倉公営住宅 | ダイヤモンド4丁目9番・10番 |
| | | シーボルト記念館 | 鳴滝2丁目7番40号 |
| | | 蛍茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱 | 馬町から中川2丁目 |
| | | 山里小学校 | 橋口町20番56号 |
| 1991 第3回 平成3年度 [5件] | 都市景観賞 | (旧) 川口鼈甲店 | 浜町7番13号 |
| | | シーボルト通り | 新大工町 |
| | 奨励賞 | (旧) 長崎プリンスホテルポケットパーク | 宝町2番26号 |
| | | (旧) 泉写真館 | 川口町6番24号 |
| | | 月光スタジオ看板 | 桜馬場1丁目2番28号 |
| 1992 第4回 平成4年度 [4件] | 都市景観賞 | 海星修道院・海星学園図書館 | 東山手町1番2号 |
| | | (旧) 矢上小学校現川分校 | 現川町1912番地 |
| | | 小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内) | 上戸町4丁目8番1号 |
| | 奨励賞 | 坂本龍馬の像 | 伊良林3丁目(風頭公園内) |
| 1993 第5回 平成5年度 [4件] | 都市景観賞 | (旧) 金子建設本社ビル | 松山町9番18号 |
| | | 湊公園 | 新地町7番 |
| | | 県営大橋団地・市営若葉団地 | 大橋町、若葉町 |
| | 奨励賞 | (旧) 復元唐船 飛帆 | — |
| 1994 第6回 平成6年度 [2件] | 奨励賞 | 長崎県立総合体育館 | 油木町7番1号 |
| | | 長崎横尾郵便局 | 横尾1丁目17番12号 |
| 1995 第7回 平成7年度 [4件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 長崎電気ビル | 城山町3番19号 |
| | | [歴史のある部門] 常岡歯科診療所 | 油屋町2番18号 |
| | | [テーマ部門: 歴史ロマン賞] 龍馬のぶーつ | 伊良林2丁目5番 |
| | 奨励賞 | [小さな建物部門] (旧) 林兼石油浦上給油所 | 松山町4番41号 |
| 1996 第8回 平成8年度 [5件] | 都市景観賞 | [小さな建物部門] 三宅脳神経外科医院 | 若草町3番21号 |
| | | [歴史のある部門] 岩永梅寿軒 | 諏訪町7番1号 |
| | | [テーマ部門: 建築エコアップ賞] 賑町パーキングセンター | 栄町5番5号 |
| | 奨励賞 | [大きな建物部門] 長崎女子高等学校記念体育館 | 中小島2丁目 |
| | | [テーマ部門: 四季プロムナード賞] 文教通り | 文教町、大橋町 |
| 1997 第9回 平成9年度 [5件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 長崎市科学館 | 油木町7番2号 |
| | | [歴史のある部門] 深堀の石堀群 | 深堀地区 |
| | | [歴史のある部門] 宝製綱 | 小曾根町1番39号 |
| | 奨励賞 | [小さな建物部門] 高野眼科医院 | 平野町10番3号 |
| | | [テーマ部門: ベイサイドシンボル賞] 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ | 飽の浦町1番1号 |
| 1998 第10回 平成10年度 [7件] | 都市景観賞 | [歴史のある部門] 福砂屋本店 | 船大工町3番1号 |
| | | [歴史のある部門] 児童養護施設マリア園 | 南山手町12番17号 |
| | 奨励賞 | [大きな建物部門] ホテルモントレ長崎 | 大浦町1番22号 |
| | | [小さな建物部門] 岩永邸 | 小江原4丁目18番3号 |
| | | [小さな建物部門] 白髭内科医院 | 片淵1丁目35番18号 |
| | | [テーマ部門: 四季プロムナード賞] サントス通り | 上野町、橋口町、岡町 |
| | | [テーマ部門: 自然賞] 善長谷教会とそこからの景色 | 大籠町善長 |
| 1999 第11回 平成11年度 [3件] | 都市景観賞 | [小さな建物部門] 長崎平和記念教会 | 富士見町21番14号 |
| | | [歴史のある部門] 料亭 富貴樓 | 上西山町5番4号 |
| | 奨励賞 | [テーマ部門: プロムナード賞] 崇福寺通り | 鍛冶屋町、油屋町 |

| 年度 | 種別 | 作品名 | 所在地 |
|------------------------------------|-------|--|----------------|
| 2001 第12回 平成13年度 [6件] | 都市景観賞 | [歴史のある部門] 小野原本店 | 築町3番23号 |
| | | [歴史のある部門] 長崎大学経済学部瓊林会館 | 片淵4丁目2番1号 |
| | | [テーマ部門：さかみち部門] どんどん坂 | 南山手町 |
| | 奨励賞 | [大きな建物部門] 慰めの聖母カトリック城山教会 | 若草町6番5号 |
| | | [大きな建物部門] 九州電力新地変電所 | 新地町6番10号 |
| | | [大きな建物部門] 長崎出島ワーフ | 出島町1番1号 |
| 2003 第13回 平成15年度 [5件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 | 平和町7番8号 |
| | | [テーマ部門：建築リニューアル賞] 長崎総合科学大学人間環境学部棟 | 宿町3番地1 |
| | | [テーマ部門：街角ディスプレイ賞] 福砂屋松が枝店 | 松が枝町2番43号 |
| | 奨励賞 | [大きな建物部門] 長崎ペンギン水族館 | 宿町3番地16 |
| | | [小さな建物部門] 八幡町公民館 | 八幡町3番9号 |
| | | | |
| 2005 第14回 平成17年度 [6件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 長崎県美術館 | 出島町2番1号 |
| | | [小さな建物部門] ビストロ・ピエ・ド・ポー | 鍛冶屋町4番17号 |
| | | [歴史のある部門] (旧) 増田邸 | 片淵2丁目18番18号 |
| | 奨励賞 | [大きな建物部門] 斜行エレベーター | 上田町、相生町 |
| | | [テーマ部門：動く風景賞] 超低床電車 | — |
| | | [テーマ部門：赤煉瓦塙のあるブロンナード賞] 三菱通り | 飽の浦町1番1号 |
| 2007 第15回 平成19年度 [4件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 親和銀行大波止支店 | 五島町4番16号 |
| | | [小さな建物部門] BAR 猪ノ口屋 | 栄町4番11号 |
| | | [歴史のある部門] 文明堂総本店 | 江戸町1番1号 |
| | | [テーマ部門：鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞] 寺町通り | 寺町 |
| 2009 第16回 平成21年度 [5件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 長崎市立図書館 | 興善町1番1号 |
| | | [小さな建物部門] 長崎大学医学部良順会館 | 坂本1丁目12番4号 |
| | | [歴史のある部門] 料亭 一力 | 諏訪町8番20号 |
| | | [テーマ部門：四季折々の表情が美しい田園景観賞] 大中尾棚田 | 神浦下大中尾町 |
| | 奨励賞 | [大きな建物部門] カトリック西町教会 | 音無町9番34号 |
| 2011 第17回 平成23年度 [6件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] 長崎港松が枝国際ターミナルビル | 松が枝町7番16号 |
| | | [歴史のある部門] 三菱重工業長崎造船所史料館 | 飽の浦町1番1号 |
| | | [テーマ部門：伝統ある植木業が創り上げた文化的景観賞] 古賀植木の里 | 松原町 |
| | 奨励賞 | [小さな建物部門] 文明堂総本店浜町店 | 浜町8番27号 |
| | | [歴史のある部門] 陶々亭 | 十人町9番4号 |
| [テーマ部門：地域の誇りは四季の花に囲まれた風景賞] 琴海戸根川と桜 | 琴海戸根町 | | |
| 2013 第18回 平成25年度 [6件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] ANA テレマート長崎支店 | 神ノ島町1丁目331番90号 |
| | | [歴史のある部門] 占勝閣 | 飽の浦町1番1号 |
| | | [歴史のある部門] 料亭 青柳 | 丸山町7番21号 |
| | | [テーマ部門：市民の憩う水辺の公園賞] 長崎水辺の森公園 | 常盤町 |
| | 奨励賞 | [歴史のある部門] 吉宗本店 | 浜町8番9号 |
| | | [テーマ部門：長崎の海を見守りつづける賞] 海の上に立つマリア像と神ノ島教会 | 神ノ島町2丁目148番 |
| 2015 第19回 平成27年度 [9件] | 都市景観賞 | [大きな建物部門] ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート | 秋月町2番3号 |
| | | [小さな建物部門] 野島歯科醫院 | 古川町6番27号 |
| | | [歴史のある部門] 鎮西大社 諏訪神社 | 上西山町18番15号 |
| | | [公共施設部門] 女神大橋 | 木鉢町から戸町 |
| | | [野外広告物部門] つりがね堂薬局サイン | 新地町11番11号 |
| | | [テーマ部門：歴史を語り続ける賞] 浦上天主堂再現プロジェクト | 本尾町1番79号 |
| | 奨励賞 | [屋外広告物部門] コクラヤネオンアーチサイン | 万屋町1番26号 |
| | | [野外広告物部門] 中の家族店サイン | 鍛冶屋町1番11号 |
| | | [テーマ部門：官民協働によるまちづくり賞] ししとき川通り | 古川町から鍛冶屋町 |







長崎市都市景観賞は、自然環境を活かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練されたまちづくりに寄与する建築物などに贈られる賞です。

このトロフィーのフォルムは「炎」であり、都市景観賞が、私たちの愛する長崎の文化を守り育てるための「灯り」となることを願ったものです。また、ガラスに封印されたコバルトブルーは、大航海時代から続いている「開港都市としての長崎」を象徴する海の色を表現しています。



長崎市都市景観賞 Symbolmark

3個の楕円は「海」と「まち」と「空」。自然と人間の営みがそれぞれに呼応しながら、長崎市の都市景観が未来へ向けて広がり高まっていくさまを、シンプルなフォルムで表現しています。

[表彰実行委員会]

委員長

田上 富久 | 長崎市長 |

副委員長

山口 雅二 | 長崎商工会議所 副会頭 |

委員

上滝 満 | 一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部 支部長 |

石山 義朗 | 公益社団法人 日本建築家協会九州支部 長崎地域会 会長 |

辻 裕伸 | 西部ガス株式会社社長長崎支社 常務執行役員長崎支社長 |

村上 昭則 | 一般社団法人 長崎県建築士会長長崎支部 支部長 |

岩永 堅之進 | 長崎市管工業協同組合 理事長 |

小林 純一 | 長崎県電気工事業工業組合長崎支部 支部長 |

森重 孝志 | 一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 会長 |

西野 廣幸 | 一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部 副支部長 |

山口 克彦 | 公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部 支部長 |

田中 繁則 | 長崎県屋外広告美術協同組合 理事 |

谷川 喜一 | 長崎商工会議所 建設部会長 |

片江 伸一郎 | 長崎市 まちづくり部長 |

監事

松永 安市 | 長崎商工会議所 専務理事 |

後田 秀幸 | 長崎商工会議所青年部 会長 |

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会

西部ガス株式会社長崎支社

一般社団法人 長崎県建築士会長長崎支部

長崎市管工業協同組合

長崎県電気工事業工業組合長崎支部

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部

長崎県屋外広告美術協同組合

[協賛]

あいこ建設 (有)

アイティーエックス (株)

朝日スチール工業 (株) 九州支店

ANA テレマート (株) 長崎支店

エスケー化研 (株) 長崎営業所

(株) 大島造船所

鹿島建設 (株) 長崎営業所

(株) カステラ本家 福砂屋

(有) 月光スタジオ

(株) コクラヤ眼鏡店

(株) 霜田塗料産業

(株) 住軽日軽エンジニアリング九州支店

鎮西大社 諏訪神社

(有) つりがね堂薬局

陶々亭

TOTO (株) 長崎営業所

(株) トーフ

(株) 長崎スカイホテル

長崎電気軌道 (株)

長崎バスグループ

(株) 鍋順

(株) 日東建設

(一社) 日本塗装工業会長崎支部

ノーリツ九州販売 (株)

(株) 文明堂総本店

(株) メモリード

(株) 山口工務店

(株) LIXIL 九州支社長崎支店

菱重ファシリティ&プロパティーズ (株) 西日本支社

(有) ワイズ

[後援]

NHK 長崎放送局

NBC 長崎放送

KTN テレビ長崎

NCC 長崎文化放送

NIB 長崎国際テレビ

NCM 長崎ケーブルメディア

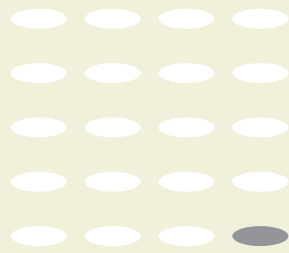
エフエム長崎

長崎新聞社

ながさきプレス

[協力]

(株) みらい長崎



長崎市都市景観賞表彰実行委員会